

も有効に解決獲得しなければならぬと考へてゐる。之を以て、事業製鉄所従業員
一歩前進として誠と意はばいふことである。

製鉄官民合同反対同盟は既に解散されてゐるが、同盟が法業通過と同時に全従業
員大會の決議に依つて代表委員も上京せしめ、中野南相中井長官その他関係当
局に要求した。合同慰勞金の支給、「共済組合法人化」、「三割増支給繰入」解
雇退職手当の増額、等々八ヶ条に亘る従業員の現実生活問題、新倉社に持ち越
されたるまことになつてゐる。全従業員は激起して一日も早く強力を新労働組合と
して、労働階級團結の美力を以て全従業員の前より最有利に之等の諸件を解決して従
業員將來の生活諸問題を少くも不安も残さぬ様うに力の振り努めねばならぬ。
中井製鉄所長官も弟不中議會の答弁に「八幡製鉄所の従業員は常識訓練組
織として立てゐる」との意向のことも述べられてゐる程である。日本最大工場である八幡
製鉄所の従業員は九州の工場地帯で労働階級の自主的模範的労働組合を
結成して西日本の労働運動の中心勢力となり、全口の労働階級に労働専門建設
の希望を與へ完全なる労働自治の曉鐘を鳴らす。輝かしい労働組合任務を遂行

この日の一日も近きとも私は心から祈つてゐるものである。

製鉄所全従業員諸君が強力を單労働組合を結成して起る現実的を生活
に關係する一切の地方的問題と對しては、私も徳力を尽し給骨碎身と、劇陣より表
面より常に従業員諸君と共にあつて労働階級の徹底的解放と戦ひ抜く断固
たる決意を述べてこの小稿の詰語とする。

八年七月八日稿並印

この小稿は七月八日松本大會館に於ける新製鉄官民合同反対
同盟裁判委員大會に於ける「全従業員大會決議事項
並日本製鉄株式会社成立過程」近況」に因する報告と纏
めたものである。

編者